

事前評価個表

整理番号	4
------	---

地域(地区)名	東青 <small>とうせい</small>	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	青森県	対象市町村	あおもりし 青森市ほか4町村
事業実施期間	H28 ~ H32 (5年間)	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、青森県の中央部に位置している。</p> <p>本地区の森林面積は112千ha(森林率76%)、対象民有林は44千ha(森林全体の39%)、うち人工林は21千ha(人工林率49%)であり、年齢構成においてはⅩ～ⅩⅩ級がピークとなっている。</p> <p>造林補助事業による森林整備を実施してきたが、地域の一部において間伐等の整備の遅れから樹木の生育不良や林床植生の衰退による土壌流出が見られるほか、豪雨時の山腹崩壊や不安定土砂の堆積により汚濁水の流下が見られ、戦後造林された民有林のスギ人工林は人工林の85%を占め、現在間伐による利用伐期にあることから、積極的な間伐実施が求められている。</p> <p>また、国土保全、水源涵養、地球温暖化の防止、林産物の供給など森林が有する多面的機能の発揮のために、効率的に森林整備を進める必要がある。</p> <p>このため、本県では市町村森林整備計画に基づき、森林整備を計画的に推進するとともに、森林吸収源対策として特定間伐等及び特定母樹の増殖の実施の促進に関する基本方針に基づき間伐等を促進し、さらに県が策定した青い森再造林推進プランに基づき再造林による森林資源の循環システムの構築を図ることとしている。</p> <p>森林施業の推進に当たっては、本事業により森林施業の集約化や路網整備、低密度植栽や一貫作業システムの導入など施業の低コスト化を着実に実施しながら、森林の持つ公益的機能を高度に発揮させ、間伐された木材利用を通して資源循環型社会の構築を目指し、郷土の森づくりを推進する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：5,325ha 人工造林、樹下植栽、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、間伐、更新伐等</p> <p>総事業費：3,636,996千円</p>
費用対効果分析結果	<p>B/C = 2.90 (総便益(B) = 18,573,712千円、総費用(C) = 6,403,962千円)</p>
評価結果	<p>必要性：森林整備が必要な森林が多く存在することから、森林の公益的機能を高めるとともに、森林吸収源対策として事業実施は必要不可欠である。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：森林整備による水源涵養、土砂流出防止、地球温暖化防止、多様な森づくりによる生物多様性等公益的機能の維持増進の観点、森林資源の有効活用の観点から有効である。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 青森県

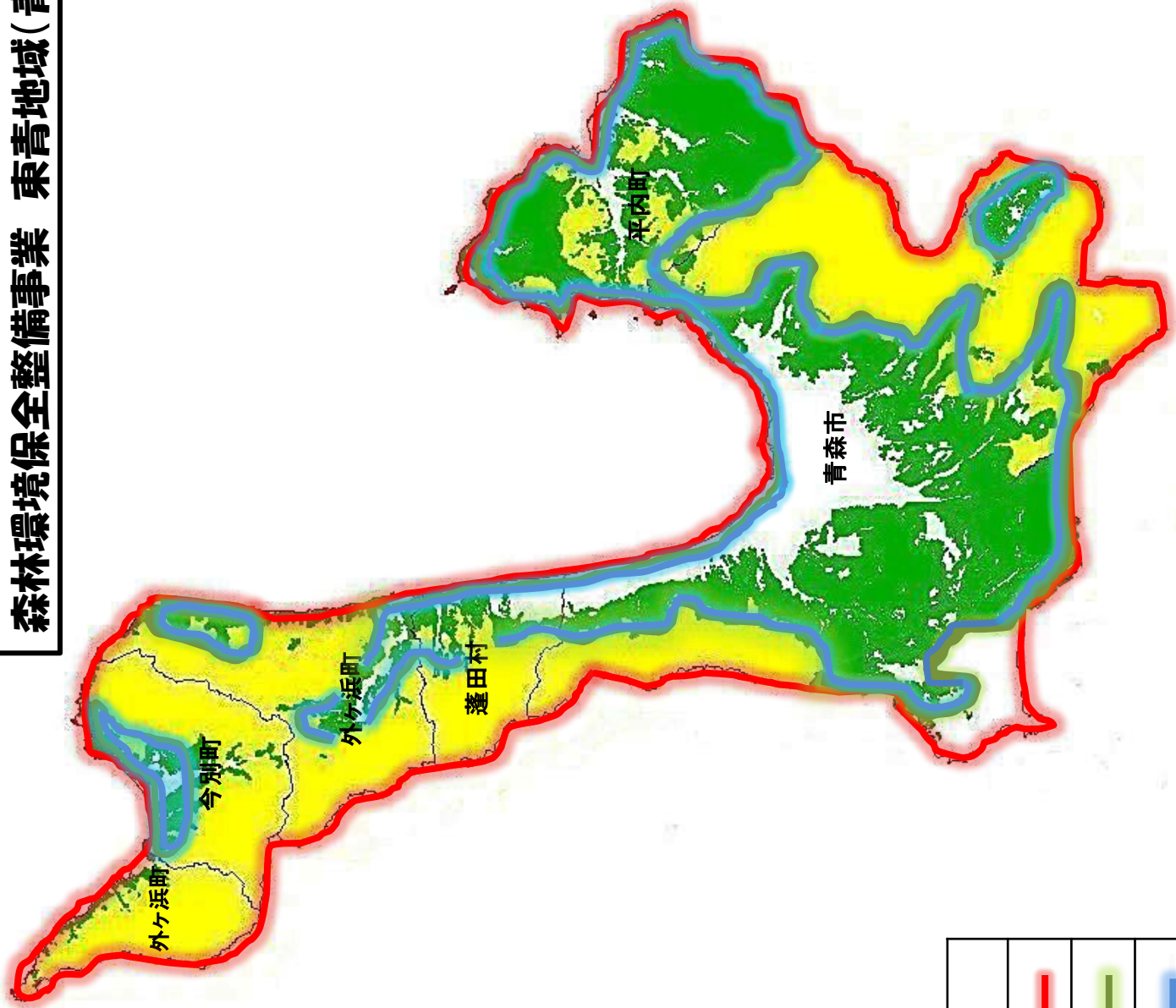
地域(地区)名: 東青^{とうせい}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	4,289,870	
	流域貯水便益	1,518,518	
	水質浄化便益	3,316,690	
山地保全便益	土砂流出防止便益	6,882,189	
	土砂崩壊防止便益	8,751	
環境保全便益	炭素固定便益	2,557,694	
総 便 益 (B)		18,573,712	
総 費 用 (C)		6,403,962	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,573,712}{6,403,962} = 2.90$		

森林環境保全整備事業 東青地域(青森県) 概要図

青森県内での位置



凡例	
計画区域	
事業区域	
森林整備	